

令和5年度 栗東市立図書館基本的運営方針に定める目標値に対する評価一覧

目標項目	令和3年度 (計画策定年)	令和4年度	現在値 (令和5年度)	目標値 (令和5年度)	目標値 (令和8年度)	方針での 該当箇所	重点取組項目	課題・問題等	自己評価	外部評価	外部の意見
1 図書館実利用率	15.9%	15.9% (92%)	15.7% (86%)	18.2%	22.0%	①②	市民のニーズにあわせた資料選定の実施 来館のきっかけとなる行事の実施 居心地の良い図書館を目指したスペースの見直し	引き続き、ニーズにあわせた資料の選定を行うとともに、非来館者にPRできる事業や、より効果的な広報活動を行う必要がある。	2	2	「貸出冊数」についても対前年度比で微減していることから、利用者層の拡がりが見られないことが見受けられる。引き続き非来館者を図書館に惹きつけるための事業実施、具体的な広報活動を検討することが求められる。 また、実利用率の拡大を疎外している要因として、開館日や本館の立地面の課題も大きく、市民が図書館にアクセスしやすい環境づくりについて引き続き検討されることが必要である。
2 年間貸出冊数	532,651冊	499,156冊 (93%)	492,033冊 (93%)	541,000冊	560,000冊	①②		蔵書自体をより魅力あるものにしていくと同時に、蔵書が魅力あるものに見えるよう書架の配置等を見直し、必要がある。			
3 市民一人当たりの年間貸出冊数	7.6冊	7.1冊 (93%)	7.0冊 (91%)	7.7冊	8.0冊	①②	魅力ある蔵書構成となるような資料の選定の実施 展示等による図書館蔵書資料の紹介事業の強化 使いやすい図書館となるような資料の配置見直しの実施	図書館に行きたいと思わせる雰囲気づくりや、読みたい本との出会いがある本の展示を行う必要がある。 インターネットからの予約など、より利便性を高めていく必要がある。	2	2	コロナによる図書館サービスへの影響が落ち着き図書館に利用者が戻りつつあるなかで、「年間貸出冊数」が令和4年度を下回ったことは大きな課題である。 利用拡大に向けて取り組んだ、資料選定方法の見直し、きめ細かな資料展示の実施、さらにインターネット予約の利便性の向上に向けた取組が有効であったのか、もっと別の方策がないのか、さらなる検討が求められる。 また、本に触れる習慣の形成には乳幼児期が重要である。この時期をメインターゲットにした取り組みを継続してほしい。
4 12歳以下市民一人当たりの児童書年間貸出冊数	21.0冊	19.6冊 (91%)	19.9冊 (90%)	22.0冊	23.5冊	③⑤		来館経験の少ない子どもの来館のきっかけとなるような魅力的な行事を実施する必要がある。 移動図書館の訪問先をさらに拡大していく必要がある。			
5 15歳以下の貸出カード登録率	65.9%	64.1% (95.5%)	63.9% (94%)	68.3%	72.0%	③⑤	乳幼児健診の機会を利用した図書館案内の配付 展示等を通じた子ども世代への読書普及活動の強化 児童館の講座等を通じた利用啓発 幼児園を対象とした移動図書館巡回先の拡大	ブックスタートと連携して利用啓発を行っていく必要がある。	2	2	令和5年度はコロナの影響が低下し、乳幼児を含め児童に対する様々な取組みが再開されたが、目標値を達成することができなかった点は大きな課題として受け止めてもらいたい。 児童の利用拡大に移動図書館サービスの拡大が有効な方策であるなら、巡回方法の見直しだけでなく、専用移動図書館車の復活、整備についても早急に取り組む必要がある。 また、フリーWiFiの整備など、若年層にとって魅力のある施策を積極的に検討していく必要がある。
6 障がい者サービス利用人数	13人	11人 (79%)	11人 (73%)	15人	20人	①② ⑤⑥	サービス対象者への広報の拡大	必要な人にサービスの情報が届くよう、福祉担当課との連携を深めていく必要がある。 音訳図書へのアクセス環境が変わる中、障がい者サービスの在り方を考えていく必要がある。	2	2	高い目標値が設定されていないにもかかわらず、年度目標を達成できなかった点は大きな課題である。 当面のサービス対象者を誰に設定するのか、を含め、具体的な障害者サービスのあり方、サービス対象者への広報のあり方等についてのさらなる検討が求められる。
7 年間蔵書購入冊数	9,645冊	10,041冊 (91%)	10,346冊 (94%)	11,000冊	11,000冊	①②④	購入計画に基づいた選定、購入の実施 事業拡大(移動図書館訪問先追加)部分に関して、企業版ふるさと納税を活用した購入の実施	出版状況の変化に応じ、計画を見直ししながら、適正な資料購入を行う必要がある。図書価格の上昇により、資料費の見直しが必要である。	2	3	購入計画に基づき計画どおりに図書の購入がすすめられており、「運営方針」の最終年度まで継続して目標値を達成されることが望まれる。 課題として「第3期運営方針」策定時には、栗東市の人口規模にふさわしい年間図書購入冊数の目標は何冊か。高い目標値の設定を視野に入れた検討が必要である。
8 司書有資格者の割合	100%	100%	100%	100%	100%	①②	司書によるレファレンス・読書相談等の実施 研修等による司書のスキルアップ	引き続き、司書によるレファレンス等、司書のはたらきについて知ってもらい、認知度を高めていく必要がある。	3	4	司書有資格職員を計画どおり100%確保できている点は高く評価でき、今後もこの職員体制が維持・継続されることが望まれる。 レファレンス業務における司書有資格職員の専門的能力の高さを市民に広く知ってもらい、図書館には司書有資格職員が必要であることを積極的にアピールする継続的な取組みさらに拡大する必要がある。
9 郷土資料の収集冊数	188冊	355冊	131冊	—	—	④	市役所各課への資料提供依頼の強化 各種出版情報のきめ細かな収集	必要な資料を収集できるよう、引き続き、市役所内への資料提供依頼や、出版情報の収集を行う必要がある。	3	3	目標値の設定がない項目であるが、毎年度着実な資料収集が求められる。 近年は、地域資料、地方行政資料とも紙媒体での発行だけでなく、インターネット上でのみ公表される資料が急速に拡大していることから、その点を見越した郷土資料収集の方策を検討し、積極的な情報収集に取り組んでほしい。

項目9については、目標値に含まれていないが、基本的運営方針項目の評価数値として列記している。

現在地の下のカッコ内の数値は、目標値に対する達成率

方針でも該当箇所は下記の栗東市立図書館基本的運営方針の基本運営方針6項目

- ①市民一人ひとりの自主的な生涯学習を支えます
- ②暮らしや仕事の課題解決を支援します
- ③学校、家庭、地域と連携して子どもの読書活動を推進します
- ④郷土の歴史や行政資料を収集、保存、提供します
- ⑤市民との協働により、図書館運営や活動の充実に努めます
- ⑥図書館利用が困難な人を支援します



本方針は、持続可能な開発目標※(SDGs: Sustainable Development Goals)の17のゴールのうち1つのゴール(4)と強い関連性を持ちます。

評価基準

5	当初設定した目標を著しく上回る成果をもって達成
4	当初設定した目標を上回る成果をもって達成
3	当初設定した目標を概ね計画どおりに達成
2	当初設定した目標を未達成